

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

「生きる」—半身まひ、リハビリ克服
つえなくても歩ける（2～4面）

- 福祉功労者ら表彰—上越で県民福祉大会
- 福祉の拠点訪ねて、三条・フリースクール
- 十日町市で県内市町村社協の会長が研修

11月号
2023
第855号



絵 「谷川岳」 作・永越 環（上越市）



社会福祉
法人

新潟県社会福祉協議会

<https://www.fukushiniigata.or.jp/>

福祉にいがた 福
にいがた 福祉に
い
が
た
の
背
景
画
を
見
る
に
は
こ
こ
の
QR
コ
ー
ド
を
ス
キャン
ス
キ
ン
な
さ
い
ま
が
た
の
背
景
画
を
見
る
に
は
こ
こ
の
QR
コ
ー
ド
を
ス
キャン
ス
キ
ン
な
さ
い

自力で歩ける「一生無理」覆し

村上市出身の元大工

佐藤 敦さん

(新潟市北区)



重度半身まひリハビリに耐え

9年前、40代初めで脂の乗った大工だった佐藤敦さん。村上市出身、新潟市北区は大病に相次ぎ襲われた。生死の境で執刀された2度の大手術は成功、命は救われたが、重度の左半身まひとなり、医師には「もう歩けない」と告げられた。しかし、懸命なりハビリの末、つえに頼らず歩けるようになった。つらいリハビリを、輪禍で早世した兄が心の中で励ましてくれた。突然の大病とリハビリ、そして今を取材した。

9年前に大病

大動脈裂ける「解離」発症 脳梗塞も、右脳膨れ切除

重度の左半身まひだが、つえを持っていない。利く右足に体重を乗せ、腰をひねって左足を前に出し、今度は左足を支えにして右足

を前へ。2人の妹とともに約束の場所に現れた敦さんは、ゆっくりだが、自力で歩いていた。

「ううっ、痛え…」。

2014年1月の日曜午前、真冬の静かな山里にうめき声が響いた。

声の主は42歳の誕生日を目前にした敦さん。村上市

巻頭集

の山間、旧朝日村の実家で大工の棟梁の父と母、2歳

下の妹の4人で暮らしていた。1歳下の妹は新潟市に嫁いでいた。

2歳上の兄もいたが、約20年前に輪禍で亡くしていた。その兄と同じく、敦さん

も父に弟子入りして大工となり、父の影響か、くぎを使わず木材を接合する伝統工法を得意とした。

「ううっ…」。自宅前の作

生きる

業小屋で、まきを作っていた敦さんはうめきながら胸を押さえた。

自宅にいて、兄の異変を知った妹の119番で地元の病院へ。意識を失い、20日後に取り戻した。

検査の結果、頸動脈近くから腹部までの大動脈の血管壁に亀裂が入る「大動脈解離」が激痛の原因と分かった。高血圧や動脈硬化などが原因とされる。

大手術のため、病院を地元から新発田へ移った。手術は夜を徹し、朝まで続いた。大動脈の一部を人工血管に替えるなどの処置を受けた。付き添った妹らは手術成功と告げられた。

安心したのもつかの間。眠り続ける敦さんの目の周辺が異様に腫れていた。

「手術は成功した」と繰り返す医師に、妹らは「目が飛び出しそう」と訴え続けた。検査の結果、脳梗塞を併発していた。発症による何らかの原因で右脳が膨らんだ状態になった。

リハビリきつくつらく 亡兄の面影に励まされ

大動脈解離の手術の翌日、医師は開頭手術に踏み切った。右脳を切除、左半身の機能が失われた。身体障害1級に認定された。

「左目で見える範囲は限られ、狭くなった」

脳梗塞の病巣が大きく、医師は「一生歩けない」。

発症3カ月後、予後が安

定し新潟リハビリテーション病院（新潟市北区）へ転院、リハビリを始めた。歩行など体を動かす訓練や言語訓練などを

◆◆◆
で、途切れ途切れに語った。

受けた。

「リハビリ

はきつくつら

かった。厳し

い担当者に当

たり散らした

ことも」

なぜ頑張れ

たのか。

「大事な兄

を失っていた

から…。2人

の妹に迷惑ば

かりかけて、

兄の分も俺が

頑張らんば、

と…。涙声

妹2人に迷惑ばかり 自分が頑張らねば…



リハビリを担当した言語聴覚士ととも



退院5年後の全国障害者芸能・文化祭にいがた大会

入院中に「こんな詩を書いてみた」と、担当の言語聴覚士に見せた。リハビリをくじけそうになると、心の中で亡兄に励まされ、頑張った心境をつづった。

「あと少し届かない」「頑張っているのに」「諦めかけたその時、聞こえて来た

あの人の声」「浮かんで

きた あの人の顔」「一歩

ずつ積み重ねることが近道

と教えてくれた」「やれば

出来ると信じて」「努力は

実るはず」（作詞・佐藤敦「想い」



④は1歳下の真紀子さん、⑤は2歳下の留実さん。年子の3人は仲が良く、2人で兄を支えてきた

【大動脈解離】心臓から送り出された血液が最初に通る、人体で最も太い血管で、樹木に例えるなら幹に相当。大動脈は「？」マークのような形で、心臓から上方の頸動脈へいったん延びた後、カーブを描いて下方の腹部へ下りる。途中、大動脈から枝のように伸びた血管が各臓器や全身へ血液を運ぶ。

側だけでなく、中膜と外膜との間にも血液の流れができ、生命が危険にさらされ、早急な医療処置が必要になる。前触れなく発症することが多く、発症すると胸や背中の激痛を伴う。原因は動脈硬化や高血圧、喫煙、高脂血症、睡眠時無呼吸症候群などとされる。

大動脈にこぶができるのが大動脈瘤で、破裂すると命は危険に。（国立循環器病研究センター）ウエブサイトから）

から抜粋）

曲を付けてもらい、楽曲

「想い」ができた。

バンドを組んだ。敦さんが歌い、言語聴覚士がギター伴奏した。

リハビリテーション病院

には約5カ月入院。発症した年の9月に退院した。

「もう歩けない」と告げ

られながら、支えなしで歩

けるようになっていた。中

には、挫折するリハビリ仲

間もいた。

「負けず嫌いだからね。

厳しかったリハビリ担当者

に今は感謝している」

（へ4ページへ続く）

耐えた日々を歌詞に

バンド組み
歌声を披露

(3ページから続く)

退院に際し「退院ライブ」を開き、患者や病院関係者を前に歌った。5年後の2019年には全国障害者芸術・文化祭にいがた大会でもステージに立った。



いったん自宅に戻ったが、老親らでは在宅介護が難しく、今はリハビリ病院が運営するグループホーム（新潟市北区）に入居。就労継続支援B型作業所へ通い、軽作業に向かう。

一方で、元大工の器用な手先を生かし切り絵を習っ



カッターを握り、切り絵をする佐藤敦さん

て、地元での文化祭に出品展示するほか、作品を家族や知人に贈る。

大好きだったお酒は断った。グループホームでは身の回りのことを何でも右手でこなす。

経験者として、リハビリに取り組む人たちへ言葉を贈る。「医者や療法士を信じて、どうか諦めずに頑張ってください」

元大工の器用さ生かし 切り絵も習い作品好評

さらに語った。「自分もできることを増やし、これからは家族や社会に恩返しをしたい」

切り絵ミニギャラリー 作・佐藤 敦



メディアシップで県言語聴覚士会

吃音など相談や講演も 12日に県民フォーラム

一般社団法人「新潟県言語聴覚士会」(佐藤卓也会長)は11月12日午後2時から午後4時まで、新潟市中央区の新潟日報メディアシップの日報ホール(2階)で初の「県民フォーラム」を開きます。

映し出します。

当日は、国内では数少ない吃音の専門家、菊池良和九州大学病院医師がオンラインで講演、映像を会場に無料。

1時間の講演の後、会場では言語発達をはじめ、吃音、難聴などについての悩み相談に言語聴覚士が応じます。

また、脳トレや発声、きこえなどについて、言語聴覚療法の体験会も開かれます。

申し込みは不要で、入場無料。



県言語聴覚士会「県民フォーラム」ポスターは、言葉によるコミュニケーションと嚙下(えんげ)の専門職である言語聴覚士について県民に広く知ってもらおうと、フォーラムを企画しました。

職員の笑顔が職場の元気 福利厚生で実現しましょう

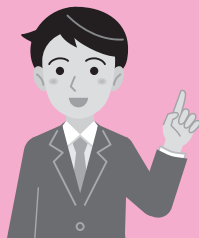
会員数
約**27**万人
(2023年3月現在)



職員1人 毎年度**1**万円の掛け金で充実の内容!

※非常勤職員向けに5千円コースもご用意しています。

充実した 基本サービス



- 生活習慣病予防健診費用助成 最大4,000円
- 健康生活用品 毎年1品給付
- 電話健康相談 無料
- 永年勤続記念品 5,000円～50,000円相当の記念品
- 長期勤続者退職慰労記念品 20,000円相当の記念品
- お祝品 [結婚:10,000円の商品券 出産:10,000円の商品券 入学:5,000円の商品券]
- 弔慰金 [会員死亡:60万円(就業中・通勤中の事故の場合180万円) 配偶者死亡:10万円]
- 見舞金 [高度障害:60万円 後遺障害(就業中・通勤中の事故):最高120万円
入院(就業中・通勤中の事故):1日につき1,000円
手術(就業中・通勤中の事故):損保会社の定める額
災害:法人20万円 個人1～2万円]
- 資格取得記念品 5,000円相当の記念品
- 各種講習会 受講料・教材費無料
- 海外研修
- クラブ・サークル活動助成 1人あたり1,000円
- オリジナルカレンダー、オリジナル手帳、情報誌のお届け

地域密着 サービス

- 会員交流事業
会員同士の親睦やリフレッシュを目的としたグルメ、観劇、コンサート、ツアーなど
楽しいイベントや利用助成を全国各地で実施

お得な 優待割引 サービス



- 指定保養所 優待料金+2,500円引
- 会員制リゾート施設 法人会員料金
- 提携宿泊施設、国内・国外パッケージツアー、レンタカー
- スポーツクラブ、スクール
- ソウェル保険 [団体生命・総合医療保険・積立年金保険、傷害保険、入院保険、がん保険]
- 特別提携住宅ローン、特別資金ローン(多目的ローン)
- 文具・事務用品、書籍・CD、社用販売、子供用品、保健福祉用品・防災防犯用品カタログ販売
- 住宅建築、マイカー購入・リース、結婚式場・結婚支援サービス、葬祭サービス、引越サービス
- ソウェルクラブ“クラブオフ” 企業向けに各種福利厚生サービスを提供する(株)リロクラブと契約し提供しています。
 - 全国の宿泊施設、レジャー施設、日帰り湯、グルメなど、幅広い分野のサービス
 - 全国200,000以上のメニュー優待料金

資料請求はこちら

<法人・事業所のご担当者のみなさまへ>
サービスの詳細は資料をご請求ください。訪問もしくはオンラインを利用してご説明することもできます。



社会福祉法人 福利厚生センター

<https://www.sowel.or.jp> TEL. ☎0120-292-711

詳しくは または、お電話でお問い合わせください。

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビルディング10階



令和5年度

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!



ホームページでも内容を紹介しています
<https://www.fukushihoken.co.jp>



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額			
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)	
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 施設の医療事故補償
 - ・ 医務室の医療事故補償
 - ・ 看護職の賠償責任補償
- オプション3 ● 施設の借用不動産賠償事故補償
- オプション4 ● クレーム対応サポート補償
- オプション5 ● 施設の感染症対応費用補償
休業補償から各種対応費用までワイドな安心
 - ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
 - ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
 - ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

- ② 個人情報漏えい対応補償 ③ 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
- ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- ① 職員の労災上乗せ補償 ③ 役員・職員の感染症罹患事故補償
- 使用者賠償責任補償 ④ 雇用慣行賠償補償
- ② 役員・職員の傷害事故補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

(引受幹事
保険会社)

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ22-12033 から抜粋)

新潟県民間社会福祉職員退職積立基金

加入の施設増加 人数は減少

「新潟県民間社会福祉職員退職積立基金」の令和4年度末現在の現況を報告します。令和4年度は事業所の加入が多く、加入施設数は増加しました。一方で、全体の加入者数は減少しています。また、年齢・男女別加入者数の割合に大きな変動はありません。

令和4年度における給付状況は、給付者数、給付額ともに増加しました。

1 加入施設・加入者の状況

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
加入施設・団体数	648	644	649
加入者数	23,008	23,162	23,014

3 給付の状況

(単位：円/人)

	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
退職者給付総額	606,653,995	676,317,682	721,883,019
一時金給付総額	560,490,522	621,386,651	659,893,643
一時金給付者数	1,650	1,752	1,802
年金給付総額	46,163,473	54,931,031	61,989,376
年金給付者数(延べ)	1,010	1,170	1,271

退職金給付対象者の勤続年数は図4の通りで、勤続10年未満が71.3%を占めています。

2 年齢・男女別加入者状況

年齢	男性	女性	合計	割合
20歳未満	16	18	34	0.2%
20歳以上30歳未満	966	2,400	3,366	14.6%
30歳以上40歳未満	1,742	3,559	5,301	23.0%
40歳以上50歳未満	2,027	4,886	6,913	30.1%
50歳以上60歳未満	1,179	4,169	5,348	23.2%
60歳以上	514	1,538	2,052	8.9%
合計	6,444	16,570	23,014	100.0%

4 退職者の勤続年数(男女別)

年齢	男性	女性	合計	割合
1年未満	86	170	256	12.1%
1年以上5年未満	197	563	760	36.1%
5年以上10年未満	110	377	487	23.1%
10年以上15年未満	61	188	249	11.8%
15年以上20年未満	33	94	127	6.0%
20年以上	53	176	229	10.9%
合計	540	1,568	2,108	100.0%

新潟ユニゾンプラザ 情報

主な設備の紹介



自動追尾機能付き
Webカメラ

AIで人物を認識し、自動的に追尾します。また、あらかじめ登録した位置にボタン1つでカメラを動かすことが可能。Web会議中、発言頻度の高い参加者が写る位置を登録しておけば、カメラを動かしても、ワンタッチで元の映像に戻すことができます。

4Kの大画面65型で、カメラはワイドに写すことが可能。全体を映し出してのWeb会議などでの利用が考えられます。

※スピーカーとマイクが内蔵されています。



カメラ付きマイクスピーカー・
大型モニターセット

貸しホール・貸し会議室は 新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール、大会議室、大・中・小研修室など用途や規模に合わせてご利用いただけます。無料の専用駐車場(220台)を完備しております。

◆貸し室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。貸し室の予約状況も公開しています。
URL：<https://www.unisonplaza.jp/>

インターネットサービス



多目的ホール及び4、5階の各会議室でインターネットを利用できる環境を整備しました。

インターネットの使用料は無料。

無線LANルーター、有線LANも無料で貸し出しを行っています(数に限りがあります)。



赤い羽根 情報

贈呈、今年もありがとう

2 県遊技業協組が 施設へ送迎車

新潟県遊技業協同組合からの寄付を原資にして、県共同募金会が福祉施設へ利用者の送迎用車両を贈る「障害者支援施設車両助成交付式」が10月11日、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで開かれました。



助成した車両の贈呈式で記念撮影

贈呈車両はマイクロバスタイプの大型車と、ワンボックスタイプの乗用車で

す。式では、県遊技業協組の朴永雅理事長が「この助成も今回で12回目になりますが、助成した福祉車両を街中でたびたび見かけることがあります。地域の皆様のお役に立てているようで、うれしく思います」とあいさつしました。

マイクロバスを贈られたNPO法人「大杉の里」(上越市浦川原区)の藤田宏裕理事長は「雪が多い地域で1日160キロの送迎があり、大変ありがたい。大切に使用していきたい」と、ワンボックスカーを贈られた社会福祉法人「とき福祉会」(佐渡市)の雑賀隆夫施設長は「有効活用して地域の障害福祉の向上に全力で取り組みたい」と、お礼を述べました。

ずくむ
2023
Vol.71

小旅行で訪れた隣のホテルの朝夕食会場。何種類もの料理が並ぶビュッフェに目を奪われた。最初は食べ過ぎを警戒していたが、おいしそうなお料理に「ちよつとずつ、味見だけ」と会場を動き回った。結果、やはり食べ過ぎた。そして思った。「このホ

フードロス

テルで毎日、どれだけの食事が作られるの? どれだけの量が余って捨てられるの? フードロスについてネットで調べてみた。飲食店やスーパーなどの事業所、または家庭を主な発生源とするフードロス年間量は世界全体で約13億トン。うち、日本は約612万トンで東京ドーム5つ

冷蔵庫の食品 つい忘れ



分。全国民が毎日、茶わん1杯の食料を捨てる量だという。食品を廃棄する主な国はやはり先進国で、米・英・仏などに続き日本はワースト6位とか。大量の食料を輸入する日本が大量廃棄とは何と云う無駄か。半面、世界の約8億人が飢餓や栄養不足状態とは割り切れない。

フードロス削減には小さな積み重ねも大切だ。小生もスーパーの食品は手前から取るなど、少しずつ実践している。ところが先日、夕食準備に冷蔵庫からパックの豚肉を取り出すと、保存期間が長過ぎたのか、少し変色していた。「熟成肉だと思えば大丈夫」と主張したが、家人は「ムリ!」。やむなくフードロスに加担してしまった。豚肉さん、ごめんなさい。冷蔵庫の食品、忘れなようにしますから、今回は許してね。

(冷や水)

「赤い羽根募金」今年も

助成へのお礼 園児ら合唱

新潟で開始式

「赤い羽根共同募金運動」が10月1日、全国一斉にスタート。県内ではこの日「開始セレモニー」が新潟市中央区の新潟日報メディアシップで開かれ、式典を通じて県民により多くの善意と協力を呼び掛けました。セレモニーでは62回目の



園バス更新のお礼に阿賀野市から駆け付けた安野こども園の園児たち

「空の第一便伝達式」が行われ、県共同募金会の佐藤明会長が「本年も赤い羽根共同募金に多大のご支援ご協力をお願いします」とあいさつしました。続いて、共同募金の助成

感染下中止、4年ぶり再開

学生が職員らに「お願いします」

県庁職域募金

県共募の

赤い羽根共同募金運動に合わせて毎年、行われている



県職員に募金を呼び掛ける学生(左)

で園バスを新しくした安野こども園(阿賀野市)の園長児14人が「ありがとうございます。新しいバスでたくさんお出かけしたいです」とお礼を述べ、元氣よく「ありがとうの花」を合唱しました。最後に、中原八一新潟市長らが募金箱を持って並ぶと、真っ先に園児たちがかわいい手を伸ばして募金していました。

たものの、新型コロナウイルスの感染禍により中止が

続いていた、新潟県共同募金会の「新潟県庁職域募金」が4年ぶりに復活。10月5日朝、新潟医療福祉大学の学生ボランティアらが庁舎内を回り、職員に募金を呼び掛けました。

慈善の志篤く 会心シヨット

新津CCで123人

第11回「赤い羽根共同募金チャリティゴルフコンペ」が10月9日、新潟市秋葉区の新津カントリークラブ(新津CC)で行われ、秋空の下、123人が参加、熱戦を繰り広げました。クラブハウスでは県共同募金会への募金贈呈式が行われました。参加者全員からの寄付金12万3千円を、

や警察本部、自治会館を回りました。学生の各班には県社会福祉協議会などの職員計12人が案内役を務めました。庁舎内の各課事務室で、募金箱を手にした学生らが「お願いします」と呼び掛けると、職員たちは執務の手を止めて募金していました。



県共募会長に寄付金を渡す、新津CCの星野理事長(右)

参加者を代表して日本防犯士会の松岡輝彦新潟県支部長が県共募会の佐藤明会長に手渡しました。また、新津CCの星野純朗理事長からも5万円が県共募に贈られました。



赤い羽根

情報

報



赤い羽根

情報

報



地域福祉さらなる向上誓う



第73回「新潟県民福祉大会」の開会あいさつをする竹内希六・県社協会長

新型コロナウイルス 5 類移行後初

第73回「新潟県民福祉大会」が10月19日、上越市の上越文化会館で開かれました。新型コロナウイルスの感染法上の分類が今春、5類に移行して初の開催で、参加人数などの制限は取りやめ。県内各地から福祉や行政の関係者ら約750人が参加、従前に迫る規模の大会となりました。

上越市で第73回「県民福祉大会」

参加人数制限なく開催

状を受け取りました。

続く県社協会長表彰に164人19団体が、県共募会長表彰には45人14地区・団体2校が選ばれ、いずれも代表が壇上で表彰状を授与されました。

根を越えた活動に取り組むたい」と開会あいさつ。続いて、大会名誉会長の花角英世県知事のあいさつを、橋本憲次郎副知事が読み上げました。

大会は県と県社会福祉協議会、県共同募金会、さらに地元の市と社協の主催です。初めに、大会会長の竹内希六・県社協会長が「県社協も地域共生社会の実現へ、地域の多様なニーズを受け止め、制度や分野の垣

この後は表彰式。県知事表彰には社会福祉活動、老人福祉功労、民生委員・児童委員などの6人7団体が選ばれ、代表して弥彦村の老人クラブ、矢作楽友会の米持英雄会長が壇上で表彰

閉幕しました。第2部は、東京・渋谷のクリニック院長、近藤慎太郎氏が「寝たきりを防ぐ！「脳卒中」「認知症」にならない食事と運動のコツ」と題して記念講演しました。



県知事表彰に弥彦村の老人クラブ「矢作楽友会」。米持英雄会長が表彰状を受け、式典最後に謝辞も述べた



県社協会長表彰は上越市の「横町いきいきサロン」。代表の三浦静子さんが表彰状を受け取った



県共募会長表彰は上越市の三和地区民生委員・児童委員協議会。藤田義雄さんが代表して表彰状を受け取った

県内社協会長 十日町で研修

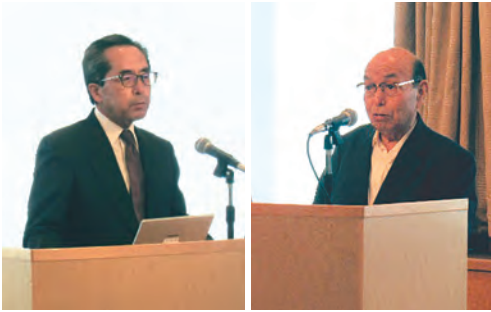
「他団体との連携大切」 福祉関係者ら実践報告



市町村社協の会長研修で実践紹介する松村実・妻有地域包括ケア研究会会長

県内の市町村社会福祉協議会の会長を対象にした「市町村社協 会長研修」（県社会福祉協議会主催）が9月20、21の両日、十日町市で開かれ、22社協から会長らが参加しました。

初日はあてま高原リゾート「ベルナティオ」で、県社協の竹内希六会長が開会あいさつ、続いて地元の十



竹内・県社協会長④と重野・十日町市社協会長

日町市社協の重野健一会長が歓迎の言葉を述べ、研修がスタートしました。

「話題提供」「取り組み紹介」として、地元の福祉関係者が登壇。

人口構造の変化に対応した地域包括ケアシステムの構築、さらに福祉の人手不足、人材の確保と養成について、妻有地域包括ケア研

究会の松村実会長が「一つの法人や事業所だけでは対応困難であり、十日町市や津南町の法人、行政機関と一緒に取り組んでいる」などと活動を紹介、連携の大切さを強調しました。

また、十日町のひきこもり支援団体「フォルトネット」の関口美智江代表は、「不登校やひきこもり当事者が主体的に社会参加するための支援活動について」「地域の関係機関の協力、共感を得ながら実施している」などと述べました。

さらに、昨夏、甚大な被害をもたらした県北豪雨災害の際に設置された「災害ボランティアセンター」の運営について、県社協地域福祉課の職員2人が報告。

「平時から行政機関をはじめとした関係機関と連携した地域福祉活動の実践が重要だ」と訴えました。

2日目は十日町市医療福祉総合センターで、センターの役割や機能の説明を受け研修を終えました。

パレット新潟店営業日



2023年		11月				
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

営業時間 11:30～16:30 □…は休業日

2023年		12月				
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

福祉の店 パレット情報

編集後記

半世紀も生きて、生まれて一度もけんかしたことがないという姉妹に驚いた。今号の佐藤敦さんの妹の白井真紀子さんと佐藤留実さんだ。敦さんも約30年前に他界した兄を語り「大事な兄だった」と涙した。その姿に、姉妹もまた涙ぐんだ。

兄と姉妹も仲が良いようで、大病を発症した兄の入院に姉妹は付き添い、その後も頻りに兄を訪ねては身の回りの世話を続ける。敦さんも「2人がいなければ、リハビリの後でもここまで歩けたかどうか」と感謝する。

姉妹ではけんかしくても、敦さんに対しては口をそろえて「けんかはしよっちゃう」。こちらはあまりに平凡で、どこか安心するやら、おかしいやら。血を分けたきょうだいで、必ずしも仲が良いと限らないのが世間一般だろう。「大病と半身まひの人生」の取材だったが、きょうだいの仲させられた。

(佐)

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。

発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人／関原 貢
定 価／5 円（会員の購読料は会費に含む）

福祉にいがた
令和5年11月1日発行（毎月1日発行）
印刷／島津印刷株式会社